

町田市街づくりアドバイザー登録者名簿

登録番号 (41)

個人・法人

ふりがな きし ゆうじ
氏 名 岸 由 二

登録年月日 2018年7月3日

対応可能な分野

- 都市計画一般 都市再開発等 建築設計
- その他(治水・土砂防災をふまえた生態系・緑地の管理、
水土砂災害にかかわる防災、緑保全にかかわる計画)

アドバイザー登録後の街づくりの実績 ※登録更新時に記載

- ・「生きのびるための流域思考」ちくまプリマー新書(単著)2021年
- ・「増補復刻版鶴見川水害予防組合史」復刻委員会編(共編著)2022年

資 格

理学博士(生態学専攻)

【最近10年間の主な活動内容】(業績または活動内容)

地域、国内外の、防災・環境保全・地域再生等の分野で、学識者、NPO代表として、流域管理の視点による支援・実践活動をおこなった。

町田市では、北部丘陵アクションプラン策定に参加し、自然環境の保全・活用の促進支援。鶴見川流域では、水マスタープラン推進のための計画、調査、実践支援。

神奈川県三浦市の小網代の森では、保全・利活用に関わる計画・実践。

川崎市高津区、横須賀市では、自然環境の保全・防災・活用計画の支援。

横浜市港北区では、小流域水土砂災害危険地の予備調査ならびに自力防災努力の提案と研修指導。

北海道網走川流域、長崎県佐々町における流域連携による地域再生へのアドバイス。

フィリピンIloilo市では、水害多発地域の防災文化推進のための地元大学、行政支援など。

【自己PR】

生態学専攻(理学博士)。流域ランドスケープを基本とする自然共生型都市再生論を準拠理論として、地域レベルの保全・活用・防災の計画・実践に、学識者、NPO代表として参与してきた。

ホームグラウンドは、全国有数の水害多発地域を擁し、水質汚染・自然環境保全で多くの課題を抱える一級水系鶴見川の流域。1996年～2001年には、環境省主導のもと「生物多様性保全モデル地域計画(鶴見川流域)」が実施され、他方、建設省・国土交通省主導のもと、地域全自治体の参与する総合治水対策(第二次流域整備計画:1990年～)、水マスタープラン(2004年～)も実施されてきた。環境省、国土交通省の関連委員として、また、流域連携をすすめる市民ネットワークの代表として、私はこれらの基本事業推進に当初から参与し、過去、現在、今後の流域諸課題を熟知する立場にある。鶴見川流域外での活動は、上記に示した通りである。

これらと並行する形で、横浜市、町田市、川崎市高津区などにおいて、環境保全・防災に関連する将来計画の策定、民間の土地区画整理事業における公園整備等への専門的・実務的なアドバイスも行ってきた。

以上の経験をもとに、大、中、小規模(谷戸、里山スケール)にわたる自然共生型地域再生に多様な分野で、今後とも貢献が可能と考えている。特に居住地でもある町田市北部丘陵地域再生については、地形や保全開発の経緯を熟知していることもあり、規模にかかわらず有益なアドバイスができると考えている。